

## 一般社団法人日本計量振興協会会長表彰を受賞して

広報部 佐藤 孝

平成28年5月26日に開催された（一社）日本計量振興協会総会に於いて、会長表彰を受賞し身に余る光栄と深く感謝しております。ご推薦いただきました（公社）神奈川県計量協会、神奈川県計量士会をはじめ関係各位の皆様のご指導、ご支援によるものと感謝申し上げます。

私の計量との関わりは、平成元年の国家試験合格後に計量士登録し、平成2年に社団法人日本計量士会神奈川県支部に入会して以来25年になります。

受験当時は勤務していた事業所が計量器使用事業場の指定を受けていたため、会社命令で一般計量士の資格を取得する必要に迫られた消極的な挑戦でしたが、会社の支援もあり準備講習会や直前講習会に参加できたおかげで、首尾よく合格できました。しかしながら、神奈川計量士会に入会以来、主要行事には参加していたものの、会社の無菌充填等の新規事業に継続的に関わったため、計量士会の事業活動に積極的に参加できない状態が続きました。

平成20年に定年退職後、計量士会や計量協会の総会、研修会、見学会、講演等行事に極力参加していましたが、平成23年に小野副会長の推薦より計量士会の理事に選出され、会報部に所属して活動する機会をいただきました。

平成23年11月より大先輩の小川忠治氏からユニー13店舗の計量管理業務の仕事を引継ぎ、計量器定期検査、商品量目検査を行うことになりました。同時にユニーが所属している適正計量推進部会の幹事を務めることになりました。

その後、平成25年から（公社）神奈川県計量協会適正計量推進部会の部会長を拝命しています。適正計量推進部会としては、計量管理はもとより、流通業の計量器は食品を扱う関係上、計量器の衛生管理、計量業務における計量士の服装など目標とするガイドラインの資料作成・配布に努めています。

受賞を機にわが半生を振り返りますと、大学卒業後、清涼飲料の会社に入社し、炭酸飲料缶詰工場の品質管理部門に配属された当初から製品内容量(量目)の検査で内容量の体積(m<sup>3</sup>)を質量と密度を計測して算出する業務に携わっており、計量との浅からぬ因縁を改めて感じざるを得ませんでした。

最後になりましたが、計量界で活動実績の少ない私が栄誉ある賞をいただけたことは、皆様方の多大なご支援とお力添えによるものと厚く御礼申し上げます。

今回の受賞を励みに、これからも適正な計量の推進に精進する所存ですので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。